

# 令和6年度 美術科シラバス

・学校教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康につとめる生徒

・美術科目標

- ・作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動
- ・対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・楽しく美術を主体的に取り組む活動

・生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

・学習内容

A 表現	(1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能		(2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○	○	○

	1年	2年	3年
1 学期	人の動きに着目し、しっかりと対象を観て動きの面白さを表現する作品を制作する。	身近なパッケージデザインについて学び、お菓子のパッケージを制作する。	自分自身を客観的に見詰め、内面的なテーマを踏まえ、自画像を制作する。
2 学期	木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫り、カトラリーを制作する。 幾何学図形などの組み合わせ配色を工夫し、自分らしい模様をコースターに表す。	日本の伝統的な技法を活用し、想いのこもったお面を制作する。	仏像について学習し、ものに祈りや願いを込めることの意義について考え、仏像をプロデュースする。
3 学期	文字の形の魅力を感じ取り、自分の名前を用いてレタリングを行う。	版の種類を学習し、シルク数リオンを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。	意図をもって技法を選択したり組み合わせながら感謝の気持ちをポップアップカードで表現する。

・評価の方法

作品、制作活動の観察、作品制作の過程、活動の様子、鑑賞プリントの記録

・三つの達成目標の関わり

学力	制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。
規律ある態度	授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。